南区 子育て支援者事業
「こそだてホッとタイム」に行ってみませんか？

０歳から未就学児のお子さんとその保護者を対象にした、親子でちょっと“ホッ”とできる場です。

離乳食やしつけ等
子育ての悩み

子育ての先輩
(子育て支援者)に
“子育て相談”が
できます。

お母さん・お父さん・お子さん同士の交流ができます。

お母さん
お父さん
自分の悩みや不安

詳しくはこちらから

地区センターやケアプラザ等
区内に8カ所あります。

65歳の横浜市がん検診が無料に！

今年度対象になる方は
昭和33年(1958)4月2日から昭和34(1959)年4月1日生まれの方

職場でがん検診を受けていた方が、退職後も定期的な受診のきっかけとなるように、令和6年4月1日から実施されています。

クーポン券を9月に発送予定ですが、クーポン券が届く前でも受診できます。

胃がん検診・肺がん検診・乳がん検診
子宮頸がん検診・前立腺がん検診
大腸がん検診　←　40歳以上無料

検診で早期発見、
早期治療へ

4月から胃がん検診の費用が、3,140円から2,500円になりました！

あらきのぼやき

南消防団員が技術を競う夏季訓練大会の練習が始まりました。ロープ結索や礼式などの基礎訓練を中心に練習しています。

毎年訓練に参加しているのに、一年経つと覚えたはずのロープ結索のやり方が「あれ、どうだったっけ？」となるのですから困ったものです。でも団員みんなで励まし合いながら訓練しています。

基礎訓練は日頃の積み重ねが大事です。ケガだけはしないようにと心がけて、今日も訓練頑張るぞ！

何をそんなに急ぐのか？
「共同親権」を導入する改正民法が可決・成立

2024年5月17日

父親の親権獲得が難しい、国際間の離婚で親権トラブルがおきる、などの理由で共同親権が必要だと、民法改正に向けた議論が進んでいました。

しかし増加するDV被害が原因の離婚では、共同親権は深刻な問題です。さまざま意見や急増する審議中止、法案反対の声を聞こうとしないまま審議が進み、可決・成立してしまいました。

日本共産党は反対しました。

本村伸子議員
衆議院本会議での反対討論

共同親権の導入で、DV・虐待から逃げられなくなるなど重大な懸念がある。法案には子どもの意見表明権が明記されていない。あらゆる場面で「子どもの意志・心情が尊重されること」を明記すべき。裁判所によって不本意な共同親権が強制され、一方の親と子どもの利益が害される懸念がある。対応する家庭裁判所の体制も不十分だ。

山添 拓議員
参議院本会議での反対討論

離婚する父母が合意しなくても、裁判所が共同親権を決めうる点が最大の問題。しんしな合意がないのに、親権の共同行使を強いれば、別居親による干渉や支配が継続する手段となり、子の権利や福祉が損なわれてしまう危険が否定できない。単独で親権行使できる事由が不明確な点も問題だ。

“親の権利”より “子の利益”が大切

共同親権 ここが心配
・子どもの負担が大きい
・一方の親に問題がある場合、
　子どもの権利が脅かされる

「海外は共同親権」だから日本も。
そうなのかな？

海外は共同親権が主流です。しかし、国ごとに制度や考え方が違うので単純に比較はできません。

オーストラリアでは、DVの実態が隠されてしまうからと、2023年「共同での養育にこだわらず、それぞれの家族の状況に応じた子どもの利益の実現を重視」するように家族法を改正しました。

日本では、弱い立場にある親や子どもにしわ寄せがいかないような環境整備など、丁寧な議論が必要なのに、拙速な審議で可決されてしまった。

日本共産党はこう考えています

共同親権を拙速に導入するのではなく、子どもの権利を守る観点から親権のあり方を議論すべき。